

## 平成28年度 第1回文化財保護審議会 会議録

### 〔開催日時〕

平成28年8月8日（月曜日）午後2時～午後5時

### 〔開催場所〕

伊勢原市役所 3階 第2委員会室

### 〔出席委員〕

鈴木 良明（会長）  
川島 敏郎（副会長）  
佐藤 健  
永井 治子  
山本 勉

### 〔事務局〕

鈴木 教之（教育長）  
山口 譲（歴史文化推進担当部長）  
立花 実（文化財課長）  
酒川 崇生（文化財課主事）

### 〔公開可否〕

公開

### 〔傍聴者数〕

0人

### 《審議の経過》

午後2時開会

#### 1 報告事項

- (1) 日本遺産認定について  
資料を用いて、事務局より説明

#### 〔委員〕

日本遺産認定後の補助金は、3か年の使い切りなのか。それともその財源を3年後以降も繰り越して使えるのか。

#### 〔事務局〕

予算は、単年度主義なので使い切りとなる。4年後以降は独立採算となるため、課題となると考えている。

#### 〔会長〕

日本遺産の補助金で行う調査研究は、日本遺産に関する以外には利用できないのか。

#### 〔事務局〕

文化庁からは、日本遺産の趣旨にのっとり利用するようにとの指示があり、調査研究を指定、登録文化財とすることを目的にしてはならないとしている。とはいえ、調査研究の成果は、基礎的なデータとなるため、将来的には有効利用は可能と考えている。

- (2) 日向薬師宝城坊所蔵「獅子頭」の国重要文化財指定について

資料を用いて、事務局より説明

#### 〔委員〕

宝城坊の獅子頭が県の有形民俗文化財かつ国指定重要文化財になるわけだが、ダブル

カウントすることに問題ないのか。

[事務局]

同様の例があり、問題ないと聞いている。

[委員]

この獅子頭は、事例が少ないため判断が難しいが、宝城坊が特に信仰を集めた時期がもう少し古いので鎌倉前期作と考えられないこともない。日本有数の獅子頭だと考えている。

### (3) 国重要文化財宝城坊本堂建造物保存修理事業について

資料を用いて、事務局より説明

[委員]

宝城坊については、いろいろな分野のデータからそれぞれの文化財の年代がある程度絞られてきた。やはり頼朝、政子などから信仰を集めたことが大きかったのではないか。

## 2 協議事項

### (4) 市域に所在する文化遺産の指定、登録の進め方について

資料を用いて、事務局より説明

[会長]

指定、登録を進めていくという方向性は問題ないと思う。条例改正を行ったことでもあるし、テストケースというわけではないがひとつやっておきたいと思う。

大山灯籠行事は、継続して行事を続けていくうえで保存会の設立などの条件さえ整えば、どんどんやっていけばいいと思う。また、各地に灯籠行事が残っているので、比較研究などをしていけばいいと思う。

[委員]

県内でも灯籠行事が残っているところも多いので、日本遺産認定をきっかけに連携してなにか事業を行ってもおもしろいと思う。

[委員]

地元伊勢原よりも市外の方々の盛り上がり大きいところもある。

[委員]

私は大山出身であるが、大山小学校の青い目の人形について全く聞いたことがなく、子どもや孫も知らなかった。

指定、登録のみならず、活用についても考えていただきたい。

[委員]

候補内にはないが大山の二の鳥居も指定に足る文化財と考えている。裏付けの資料も残されているので、検討してもらいたい。

[会長]

平成25年の条例制定時に少し話題となったが、指定の見直しについても検討が必要である。

[事務局]

指定、登録について、ある程度の基準を設定しないといけないと認識している。

[会長]

いくつかの条件程度に抑えて、今後登録文化財を増やしていけばいいと思う。

[事務局]

指定、登録することで、地域で活動している方々の励みになればいいと考えている。

## 3 現地視察

① 石雲寺（北条幻庵印判状）

② 宝城坊（宝城坊本堂、木造賓頭盧尊者像）

事務局の案内で現地視察を実施

午後17時30分閉会